

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	水と都市小委員会	主 査 名：村川三郎 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学工学本委員会 (水環境運営委員会)	委員長名：加藤信介 主 査 名：浅野良晴
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	新しい親水とまちづくりの関係を、人間、生き物の視点から考察し、市民とともに につくりあげていくことが大切であると考え、そのことを実現していくための 方策を考えることを目的としている。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 村川三郎(広島大学)、上山肇(江戸川区役所)、石川嘉崇(電源開発)、市川尚紀(東京 理科大学)、大橋南海子(まちづくり工房)、岡田昌彰(近畿大学)、坪井壱太郎(法政大 学)、畔柳昭雄(日本大学)、岡村昌義(アトリエ鯨)、土屋十囀(前橋工科大学)、長屋静 子(環境と川研究所)、久隆浩(近畿大学)、山田圭二郎(セントラルコンサルタント)、 渡辺秀俊(三洋テクノマリン)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2006 年度予算	68,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナ ー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 本年度予定していた委員会開催については予定通り開催できる予定である。 2. 大会において、小委員会活動成果を報告した。 3. 予定通り出版に向け着々と準備している。
委員会活動の問題点 ・課題	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2006 年度 小委員会活動 自己評価
(中間年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>出版に向けて校正内容などを検討し原稿執筆に取りかかっている状況であり、目標に向けて達成していると判断する。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。